

たがやす女の詩

うた

臼井澄江



たいまつ新書 52

著者紹介

臼井澄江（うすい・すみえ）

1938 年静岡県小笠郡菊川町に生まれる。

1959 年静岡県立女子短大卒業。

1961 年藤枝市瀬戸谷へ嫁ぐ。

日本農民文学会に所属。

現住所 静岡県藤枝市瀬戸谷12317-1

たがやす女の詩^{うた}

たいまつ新書 52(緑)

1979 年 2 月 10 日 第 1 刷発行

定価 650 円

著 者 © 臼 井 澄 江

発 行 者 大 野 進

発 行 所 株式会社 たいまつ社

〒160 東京都新宿区百人町1-23-14

電 話 03-371-1590

振 替 東京 4-24362

印 刷・厚 徳 社

＜落丁・乱丁本はおとりかえします＞ 直接注文の場合、送料当社負担



たいまつ新書 52

たがやす女の^{うた}詩

臼井澄江

たい
まつ
社

目次

〈第一部〉

病院にて	9
育のために	11
出産	
その後	
田地	15
農の嫁	19
杉苗を植える	24
山鳴り	26
峡の村より	33
薬槽の底に	37

二月の女	41
風花の野	44
苗代づくり抄	49
稲の花束	
六月の闇	
幻の景	
胎動	60
実をまびく	64
じょう山の見える村落	68
昭和五十年冬の報告	72
みかん山から	
鉋と鋸の話	
山火事	
まぼろしの、旅へ	79
胞衣塚	83
三歳の子とかかし	85

山 なみ 87

村落にて 89

杉植えの山にて 93

こもりうた 96

霧の村 99

大日堂にて 103

〈第二部〉

紅 梅 108

益虫のよみがえる村に 110

待ちに待った茶原まわり 112

心通う消費者との茶摘み 114

"せんそうぐさ"を追いかけて 116

だぶだぶのもんぺなんて

焙炉を使つて

120

山の市

122

海と砂丘と男たち

124

幻のイネの花

128

櫛

130

あとがき

135

第一部

病院にて

病んだ人らがうつろに待っている
自分を憎むように
いたわるようにして会話もしない

なおるだろうか

病棟が続く向こうに青い山が見え
安倍の連山が空に続いている

白衣がちらちら行き交う廊下に
薬剤の臭いがしてくる

繊維にくっついて体臭になりそう

よどんだ目に

芝生にいる入院患者らの散歩が泳いでいるように写る
わたしもそっちに向かって歩き出しそうになる

地上 昭和四十一年十月

育のために

出 産

怒濤のように

肉の表面にかぶりつくように

ごろんとした塊が激しく下腹へ襲いながら

産道へぶつかり続けた時間

ひだを押しひろげ 押しひろげた層の区画

痛みなのか なにか力なのか

造っていたいのちを分身する作業のために

女は汗をかく

憎悪からの脱出のように抵抗する

ふりしぼるイキミにいどむのだ

ベッドの綱をにぎりしめ

両足の筋肉をつっぱらせた　と

充血した出口にむかう　卵膜のおおった胎児から

わたしに伝達を始める羊水の世界からの

切迫した変化のきびしい試練の伝達

吐きすてるイキミが　重く下った

それから一時間の後

母と女同士にわかる話をした

当然の女の仕業であるかのように

産後の産道の傷面は　尿のたびにひりひりとしみながら

子宮の収縮のたびごとに

顔をしかめさせ腹をなでさすらせた

クレゾール消毒綿の触れる皮膚が

いつもひんやりとし開口期へ向って

また逆もどりを始め不快なものを残した

この分娩継続のような移行は

一%クレゾール石鹼液の泌みた綿の部分からの感覚であつたに

違いないのだがその肌が乾き出すと

肉の一部の裂傷は 赤くふくれていたのだろう

あつぽったい体温の伝わりはいつもここからのものだった

おもしろ頭をあげた女の前に

取り換えたばかりのぬれたおむつの臭いが充滿した

その後

おいたつための

乳のあふれよ

かえらない魂だけが腕の中にある

吾子の死は

お詫びとの対面だけを残していった

おまえは

二月の雪の空で

みるい肌をさらすように泣いている

おお

わたしがおまえの母なのだと答えられようか

臍の緒と産毛のある抽斗をあけると

いつか

おまえは羊水の中に還って行く 蘇って行く

伸びない氷塊のような中へ

育つ楽しみを喪失した女が

悲しみを抱いてうつむいている

県民文芸 昭和四十二年三月

田 地

村落を出つくした

滝沢神社の道端あたりで

わたしの田 通称幻影田はいつも造られている

二月の寒夜の田遊祭の笛がふるえて

凍るような思考が呼び戻されていくと

去っていった幻覚が

ふたたび母の像と重なり住んでいる

牧の原を西へ下り切った

住居の三方を取り囲んだ

暗渠排水のある田地で

身重な母が田植えをし